



「嵐の中の地球号」

ルカ福音書13…1〜5節

牧師 安藤 脩

今日の聖書箇所には悲惨な出来事が2件記されています。第1は「ピラトがガリラヤ人の血を彼らのいけにえに混ぜたこと」(…1)です。彼らがエルサレムへ巡礼し、礼拝のため犠牲を捧げている時、ピラトによって殺されたという出来事があつたようです。もう一つは、シロアムの塔が倒れて、18人も人が死んだという事件です。建築技術が未熟のためだったか、自然災害だったか分かりませんが、とにかく、犠牲者がいました。

これらの犠牲になつて死んだ人々について、イエス様に報告した人々の思いの中には、日本人にもある因果応報的考えがありました。「あのような死に方をした人々は、何か罪を犯していたから、神様からの罰を受けたのでしよう」と。しかしイエス様は問い返されました。「そのような災難に遭つたのは、ほかのどの

2014年夏号

日本キリスト教団  
横浜岡村教会

〒235-0021

横浜市磯子区

岡村 4-25-39

TEL045(751)3917

牧師

安藤 脩

ガリラヤ人よりも罪深い者だったからだと思ふのか。」(…2)と。そしてきつぱり「決してそうではない。言っておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びる。」(…3)と警告されました。

この聖句を読んだ時、2つの悲しい出来事を思い出しました。1つは3年前の東日本大震災。もう1つは、3週間前の韓国フェリー・セウオル号沈没事故です。東日本大震災の被害は、単なる自然災害だったでしょうか。原発問題に見られるように、安全を無視した人間の、経済成長主義が被害を拡大しています。そして、セウオル号事故に現代社会の罪が集約されています。あの事故を分析した結果は、安全を無視した船の改造と過積載が原因だったとのことでした。

そしてセウオル号を地球に置き換えれば現代社会にある罪そのものが見えてきます。地球は神の造られた自然の状態ではなく、改造されています。第1に、自然の破壊です。熱帯雨林の乱伐と利益、利便さ優先の鉱工業の発達は、地球を汚

染し、気候体系を変えています。それが近年のエルニーニョ現象による異常気象と地球温暖化です。第2は「偏り」です。貧富の格差と温度の格差です。セウオル号事故を起こした韓国では、10大財閥が富の7割を占めているとも報じられています。富める国と貧しい国との格差も増大しています。このため益々、地球から資源を搾取しようとして、いつも争いが絶えません。明らかに地球は自然の状態から改造されています。そしてこのような改造をしているのは私たち人間です。

「過積載」は利益追求から起きる過ちです。セウオル号では3.6倍もの過積載になっていたのでこのことです。利益追求のみが重要視される社会構造は、人の心に歪みをもたらします。互いに支え、守りあう愛の心を失わせます。

津波は来ます。嵐は起こります。それでも、改造や過積載が無かったなら、沈没事故は起こらなかつたでしょう。そして地球号は今これと同じような、嵐の中にあります。

100年前海難史上最大の事故とも言われるタイタニック号の沈没がありました。それは映画にもなりましたが、その最後の場面で「人は神の前に、もつと謙虚でなければならぬ」と言われた言葉を心に留めたいです。

証し

## 受洗の頃

安田 正昭

(更生教会員)



19才の時、東京中野区の家から歩いて5分ほどの更生教会の前を通った時、「お入りになりませんか」と、声をかけられたのが私の求道のきっかけでした。礼拝堂ではなくて、小さな集会室に案内されると、すでに夕拝が始まっていて、一番後ろの席に座ると隣から安藤脩牧師が、聖歌のページを開いて差し出して下さいました。707番「心に悶えあらば、イエスに話せ、イエスに話せ・・・」と私の横で歌う安藤先生の美声に引き込まれ(？)「これからは教会に来よう!」と、決心を致しました。

子どもの頃からピアノが好きで、音楽家を目指していた私にとっては、「音楽」と言うものが一つの信仰でした。芸大付属高校から芸大に進み、高校時代には海外的コンクールで優勝したりして、一見順調に歩んでいたつもりだったのですが、大学に入ったころから周囲の期待と自分がやりたい事の間ギャップが感じられるようになり、それまでうまくいって

た先生達との人間関係が崩れ始め、演奏も不調になり、国内のコンクールで落ちてしまうなど、悩み多き日々を過ごしていました。

そんな中で「どこか気の休まる所が欲しい」と思うようになり、更生教会のチャペルコンサートやクリスマス音楽の音楽礼拝に顔を出しました。この時すでに同世代の青年や安藤先生とは顔見知りになっていましたが、前述の夕拝を機会に毎日より日に礼拝に出席するようになり、聖歌隊で歌ったり、伴奏もしたりしながら、楽しくすごしました。

ただ、受洗については、すぐには決心がつかず、そのまま数カ月が経ってしまいました。半年ほど経ったころ、以前から考えていたフランスに留学する事になり、その事を安藤先生にお話ししました。「フランスに行かれてからも、向こうで出席すべき教会が与えられると良いですね。願わくば、洗礼を受けられてから渡仏して下さいれば、私も嬉しいのです・・・」

この安藤先生の言葉を母に伝えると、当初私が教会に通う事に必ずしも肯定的でなかった母も「一つの節目」と思ったのでしようか「フランスに行く前に更生教会で洗礼を受けなさい」と言いました。

私が受洗して一年後には母も安藤先生の元で受洗し、その翌年には父方の祖父が病床洗礼を受け召天。まもなく父も受洗しました。

この度、横浜岡村教会のチャペルコンサートで演奏させて頂ける事は、私にとって自然に導かれた事のように思います。又、最近多忙な中で、忘れがちになっていた自分の信仰や、すでに召された母の事などいろいろ考え、思いを馳せる機会となりました事を感謝いたします。



安田正昭さんの横浜岡村教会でのピアノコンサート

## 安田正昭 ピアノコンサート

5月18日(日) PM 1:30 ~ 3:00

当日は、会堂にあふれるばかりの方々  
が来られ、私たちは、素晴らしい慰めの  
ひと時を頂きました。安田兄に心から感  
謝いたします。以下、アンケートからの  
感想です。

\*躍動感と平安に満たされた、すばらしい演奏を聞かせて頂き感謝でいっぱい  
です。\*主がそこにおいて下さるような安  
らぎを覚えました。安田さんの演奏の音  
には本当に色があるのを感じました。心  
より感謝いたします。\*心にしみる音楽  
会でした。何故かノクターンを聞いてい  
まして涙があふれました。心安らぐ時間  
ありがとうございました。\*安田さんの  
すぐ後ろの席で楽しませて頂きました。  
迫力と熱気で圧倒されました。大好きな  
ラ・カンパネラをきけて、感動しました。  
最後の「聖霊」？は、ジャズのように印  
象に残りました。\*とても楽しく過ごし  
ました。病気のため思うように字もかけ  
なくなりましたが気持ち強く持つて生  
きてゆきたいです。学生時代を思い出し  
ました。\*安田正昭さんのピアノコンサ  
ートは、とても素晴らしかったです。お  
人柄、演奏内容、魅了されました。機会  
があれば、是非また聴きたいと思いま

\*一年前に障害児の息子をつれてホルン  
の演奏をききにきた者ですが、また教会  
に行きたいと思いつながら、なかなか時間  
がとれずに行えなかったところおハガキを頂  
きまして、大変うれしく、またぜひピアノ  
もききたいという思いで今日は来させ  
ていただきました。\*親しみやすいお話  
しとすばらしい演奏を楽しませていた  
きました。このような機会をご用意下さ  
いました安藤先生初め教会員の皆さまの  
お骨折りに感謝いたします。\*旧約、新  
約ともに目下(数年前から)独学中。ピ  
アノコンサートは、熱演に感動しました。  
素晴らしい午後のひとときをありがとうございました。  
\*すばらしいチャペルコン  
サートにお招き頂きありがとうございました。  
\*漫然と音楽をたのしんでいましたが、  
今日はすぐれた作曲家の中に分け入り、  
またすぐれた演奏家によってピアノがこ  
んなに豊かな音色、技法をもったものか  
はじめて知り感動しました。77才まで生  
きていて良かった！\*曲の説明がわか  
りやすく楽しかった。目からウロコの話  
も多く勉強になった。昨夜ぐうぜん「月  
光」ソナタをCDで聞いていたので、より  
感がい深かった。昔ピアノを習っていた  
何10年とやっていなかったんですが、私  
もまたピアノのレッスンを始めようと心  
にちかかった。心やすらぐひとときをあり  
がとうございます。(抜粋)

## 洗足礼拝の感謝 4月13日

イエス様が弟子の足をお洗いに

なることを思い浮かべ

石川 洋一

この度は、夫婦共に棕櫚の主日洗足礼  
拝において、牧師先生より洗足の式をし  
て頂き本当に感動しました。イエス様が  
弟子の足を洗う御姿を改めて頭に思い浮  
かべながら、ヨハネによる福音書十三章  
一節から読み直しました。イエス様は、  
この世から父のもとへ移る御自分の時が  
来た事を悟り、世にいる弟子達を愛して、  
この上なく愛し抜かれたとあります。今  
でも聖霊という御姿で、私達のような罪  
深き者の隣りにいて下さり、愛をもって  
支えて下さっていることを信じ、本当に  
感謝の気持ちで一杯です。また、私たち  
の罪のためにイエス様が十字架におかか  
りになり、三日後に復活なさったことに  
感謝して、イエスター礼拝を守れたこと  
嬉しく思います。イエス様は弟子たちの  
足を洗い、お手本をお示しになられました  
。私たちも神様の無償の愛を受けつつ、  
お互いに愛をもって接することができ  
るよう、祈りつつ歩んでいきたいと思いま  
す。

## 信徒研修懇談会

3月16日(日)

テーマ「聖日厳守」「什一献金」「常時祈祷」

## 「聖日厳守」

平野 耕太郎



聖日(安息日)厳守の掟は、主からの一方的なものではありません。「神の義」を求める人々へ、主は添えて必要な助けを与えて下さいます。イスラエル人は、エジプト脱出後の荒野での40年間、絶えずマナという日持ちしない天から降る食べ物によって生活してきました。ただし安息日の前日に与えられるマナは翌日まで腐らず、安息日に働く必要がありませんでした。かえって安息日を守らずに食べ物求めて野へ出た人は、マナが見つからず虚しく終わっています。聖日を守る私たちの心を、主は必ず守って下さるのです。

また私達は、この世の苦しみや悲しみ、試練を受ける中で、不安や不満を持ち、主との交わりから離れやすいものです。しかし、私達には創造以来、主から父母兄弟やパートナーといった家族が与えられ、その中で生きてきました。その人々と共に励まし合い、礼拝を捧げ、互いに交わりを持つ事は、主との交わりと同じ位大切です。「神の国は人と人との間に

ある」また「2人以上がいるところに主は共にいて下さる」という聖書にある御言葉の通りです。だからこそ、聖日に、主にある兄弟姉妹同士で励まし合い、交わり、主の恵みを思い起こせば、私達はもう一度主に立ち返り、頼る事が出来ます。だからこそ、礼拝を怠ってはならないし、独りでいる事は本当によくありません。今教会に出席出来ない方がこれを読んだら、ぜひ教会に来て、主と私達と交わりを持って欲しいと祈っています。

## 「什一献金」

関口 猛



教育部による企画で、「什一献金」の項をカレブの会が担当する事になりました。テーマが難しい処であり、会員の方からもインターネットからの情報を頂きそれらを読んで、一般的な意見の感想はネガティブ・イメージが多く、相当注意しないとミスリードになると思います。聖書と参考図書、先輩諸氏の教えと考えを参考に資料をまとめました。旧約聖書には創世記14章、マラキ書3章に「什一」の意味が、新約聖書には、「コリント9章には「各自、不承不承ではなく、こうしよう」と心に決めた通りにしなさい。喜んで

で与える人を神は愛して下さるからです」とあります。参考資料からは、「喜びと感謝を持って献金しましょう。主こそ我が人生の主であることの告白として、信仰を持って捧げましょう。」(「献金の心得」佐藤彰著)が目にとまりました。また教会の小冊子からは、「献金は十分の一の場合、あるいは以下の場合があってもよい、喜びと感謝があふれ計算は後ろに引込む、献金とはこういうものです。計算が出てくるとおかしくなる。」とあります。また曾野綾子のエッセーには「什一とは、神への感謝からなされる行為である。しかし、それは現実に収入の十分の一を捧げるとなるとなかなか難しい。年間百万の収入の人は至難の業であり、一千万の高額所得者でもローン、子供の養育費等の理由で実に辛いという実感を持つだろう。聖書では捧げるといふ行為の崇高さを『やもめのレプタ(ルカ21:4)』という話で説いている」と書かれていた。これらをもとにテーマ発表後、4グループに分かれたミーティングで本音を交えた良い話し合いで有意義な時を持てた事に感謝します。本音の部分を如何に取込み取組むか今後の宿題として重要な課題となりました。

## 「常時祈禱」

安藤善枝



なぜキリスト者は祈る事が大切なのでしょう。か。「日本基督教団信仰告白・信仰の手引き」より「祈りは、私が神の息吹である御霊を頂くための呼吸であり、それがなければ、私の信仰は窒息し、良き業はすべて単なる肉の業に過ぎなくなります。又、祈りは、私が罪の許しを得て、新しく生きるための出発点です。そして祈りは、私がすべての良き賜物を運命や隣人に期待するのではなく、ただ神にのみ期待し、求め、感謝して受けるための、被造物として欠かすことの出来ない業です。」とあります。

では、自分の力で祈る事が出来るのでしょうか？続けてこうあります。「いいえ祈りは、自分の力で出来るものではありません。私が御霊の助けを祈るなら、御霊は弱い私の霊を励まし、私の舌に祈りの言葉を与えて下さいます。又、私の心と思いが神からそれて、雑念に走る事がないようにし、熱心な、ひたすら神の慈愛と憐れみによりする『魂を注ぎだした』祈りを祈る事が出来るようにして下さいます」とあります。

旧約においても新約においても神に用

いられた器は祈る人でありました。祈りは生ける神との交わりであります。主イエスは多くの時間を祈りに用いました。イエスの姿を見て、弟子たちは育っていききました。

聖書に表してある祈る時の姿を聖書語句大辞典で調べました。「伏す・頭をたれる・涙を流す・昼も夜も・身を清めて・部屋に入って戸を閉じて・立つて・ひざまずいて・断食して・霊で祈る・知性でも祈る」私たちの姿はどうでしょうか。調べる中で多かったのは、祈りには涙が伴うという事でした。又、繰り返しが多いものは「夜も昼も・声をあげて・嘆きを注ぎだす」などがありました。祈りとは「神との繋がりに」「呼吸すること」「生きることそのものなんだと思わされました。

## グループに分かれてからの

## 感想

## ○聖日厳守

礼拝に出る事は、時間を捧げる事だと聴いて納得しました。どうしても仕事に優先して成らざるを得ない状況ではあるが、心は常に主に向けておきたいと考えてい

る。日曜日に休める職場が与えられて感謝です。礼拝に出られない人にどのようなすれば交わりがもてるのか。週報をこまめに届ける。牧師は休んだ人の所に行つて聖餐式を行っている。(全員とはいかないようだ)夕拝に誘う。

## ○什一献金

各自異なるが、不承不承ではなく、真心から捧げたい。年金は決まった額なので、きちんと献金出来る。什一ではなく、什二位捧げている。収入に対しての計算だけではないと思う。一定の目安と理解している。特別献金は大切だと思う。什一の範囲がよくわからない。喜んで捧げる事が一番大切。

## ○常時祈禱

職場でアパルムを使ってデボーションをしている。「荒野の泉」を6年間使っているが、ボロボロになっても、手放す事が出来ない。毎日の祈りの時に喜びがある。長期の課題、緊急の課題などたくさんの人に祈ってもらいたい事を共有出来ると思います。忙しい日は、歩きながら主の祈りを捧げたり、電車の中で本を読んだり、自ら主と交わる時間を作っている。

## イースターおめでとう

イースターおめでとう



伝道部 坂本 浩

横浜岡村教会では、今年もレントの期間中、毎日曜日にカップ一杯・一食分のお米を持ち寄り、寿町の炊き出しに用いられました。そこに神様の御手が差し伸べられますことを切にお祈りしております。

受難週祈禱会(月々木)では、長期間教会を離れている方々を中心に、信仰の復活を願い、祈りを捧げてきました。本年の標語聖句は『安息日を心に留め、これを聖別せよ』を掲げています。私たちは、先ず週のはじめに主にお会いすることを生活の第一にしたいと願っています。また、受難日礼拝では、安藤牧師のメッセージの最後に現在紛争中の国々の名前を挙げ、一刻も早い解決と、その中で苦しみ喘いでいる方々を思い、祈りを捧げました。

私たちの罪のために、主イエス・キリストが十字架にお架かりになってくださ

った、本当の意味を改めて思い返すことができた貴重な期間だったと思います。

二十日(日)御復活の日・イースターを迎え、朝の礼拝はJCとの合同で行われ、保護者も参加して下さったことで、喜びに満ちた礼拝となりました。午後は、恒例のもちつき会が行われました。週間予報ではあまり良い天候ではないとのことでしたが、この日は、薄曇りでやや肌寒いものの、雨・日差し対策のテント設置も必要ありませんでした。近隣の方々や小学校にもお知らせをしたこともあり、多くの方々と共に、喜びと感謝の時を持つことができました。今や世間の商業ベースにおいても、イースターを持ち出しはじめていますが、クリスマス同様この時をチャンスと捉え、宣教の業が前進して行くことを願っています。



## 伊澤よし江姉を偲んで

故伊澤よし江姉の納骨式が5月14日(水)に行われました。教会の兄弟姉妹12名が参加され、上大岡墓地の伊澤家のお墓に埋葬されました。

伊澤よし江姉は1946年7月12日に、父・常太郎、母・定子の4人兄弟の3番目(女1人)として生まれました。田崎姉姉との交わりの中で信仰に導かれ、1979年12月23日に野沢満雄牧師より洗礼を受けました。物静かな姉妹でしたが、主日礼拝と田崎宅家庭集会は誠実に出席し守られました。体調を崩して入院が多くなった時も、家庭集会には差し入れ等をし、家庭集会を支えてくださいました。入院が長くなりましたが、訪問をして祈ると、伊澤姉も短くても必ず祈りで返し、信仰を全うしました。そして去る3月31日午後2時16分、誤嚥性肺炎のため平安の裡に主のみもとに帰られました。(安藤記)



2014年度 新役員の抱負

役員の違い

井上 義勝

2月23日(日)の臨時教会総会で、14年度の役員に選ばれました。翌月の役員会で奉仕分担も決まり、会計と伝道部長の任に就くことになりました。この結果を主の召しとして受けとめ、受入れました。

3月30日(日)には役員任職式が行なわれ、選ばれた役員の兄弟姉妹と共に、日本基督教団の信仰告白にもとづいて教憲・教規を誠実に守り、教会の一致、純潔、平和、発展のために祈り、このつとめを果たす約束をしました。

「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない」(ヘブル13:5)

新年度に思うこと

坂本 浩

新会堂完成後、この地で伝道活動を中心に、様々な取り組みをしてきました。この年度も5月にピアノコンサートを予定しています。信仰への道は狭く困難ですが、誰でも入りやすい、行きやすい教会でありたいと願っています。先日のイ

ースターもちつき会では、中の様子に圧倒されていた二人の女子が、入場をためらっていたので、声を掛け招きました。彼女たちはお餅を食べて帰っていききました。二人はどんなことを感じたのでしょうか。主の御導きを期待しています

新役員の抱負

間宮 富子

一週間の始めの日に置かれている礼拝司会の奉仕は、5名の役員が順番に行っています。身も心もひきしまる思いで臨んでいます。真つすぐに心が神様に向けられ、礼拝がささげられるよう講壇に立つ直前、安藤牧師と共に祈りの時が与えられます。奉仕担当の一週間位前から、緊張感、緊迫感が心の中に感じられ、いつもと違う自分がそこにいます。この時、主は私の信仰を試されそして、成長させて下さっている。これを恵みとして受け取り主の御前に立ちます。

新役員の抱負

関原 紀子

2014年度が、動き始めました。新役員として任職を受け、身の引き締まる思いです。4月6日の礼拝説教で、語られた牧師の言葉「過去の信仰状態が、現在につながっているのではない。」が、強く残っています。自分がまず、神様の

ために、力をもって奉仕できますようお祈り下さい。

教会役員として

今給黎 美代子

私は、今年度の教会役員に選出されました。これは、主の御心による任命であると信じます。そして、教会形成と教会成長をめざして、忠実に仕える使命と責任を負うことであります。常に主にあつて願いつつ、御言葉から導きを頂いて、進んで行けますように祈ります。今年度は、総務部と教会会計を担当いたします。喜びを持って、主のご用が全う出来ますように願って、祈りを積んで行きたいと思えます。

教育部の働き

藤山 クニエ

昨年度「聖日厳守」「常時祈祷」「什一献金」の三本柱をかかげ、聖書のみ言葉から学びあいました。学んだだけで終ったのなら、なんとむなしなことでしょう。一人一人が主からのものとして、実行して行く事が新年度の目標です。この三つの柱は別々ではなく、つながっているのです。神様が私達の為に、神の民としてなすべきこと、神様のみ顔を求めて聖なる日を第一とすること。ここからはじまります。



## JCの窓 (ジュニアチャーチ)

「礼拝」

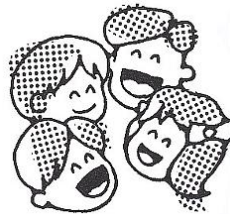
藤山 クニエ

私たちは、毎週神様の御前に出て、JCのお友

達と共に、礼拝を捧げています。少し早  
めに来た子たちは、聖書箇所、暗唱聖句  
等、メモを取り始めます。それはいいの  
ですが、礼拝が始まり、讃美を捧げ、主  
をほめたたえているその時も、一生懸命  
メモをとっている子がいます。その事は  
あとでやる事にして、大きな声で、讃美  
してほしいと思います。その方が神様に

喜ばれると思います。

新年度、待望の男の子が一年生に3人  
も来てくれ、活気が出てきました。女の  
子も来てくれました。今年、御言葉を  
たくさん覚え、力となるように、誕生会  
の時を暗唱聖句大会にしました。幼い時  
に覚えた御言葉は、生涯の宝となります。  
さまざま不安や  
恐れが多い現代。変  
わる事のない、希望  
を与えてくれるこ  
とでしょう。



## 6月～8月行事予定

### 6月

- 8日 ペンテコステ(花の日)  
JC. 一般合同礼拝  
15日 JC 父の日招待礼拝  
18日 三教会統一祈祷課題祈祷会  
21日 第16回春のランチョン  
ゲスト・守部喜雅氏  
27日 藤山宅家庭祈祷会  
15日～7月6日毎週 信徒講座

### 7月

- 12～13日 第33回岡村アシュラム  
(証し者・伊藤得子姉)  
25日 藤山宅祈祷会  
27日 三教会交流講壇交換(中島師)  
28日～31日 松原湖バイブルキャンプ

### 8月

- 2～3日 JC 夏季学校(教会)  
17日 創立記念礼拝  
25～27日 こころの友伝道全国大会  
(鹿児島・ウエルビューホテル)  
28日 安藤師夏季休暇  
29日 藤山宅祈祷会  
31日 DVD鑑賞会  
(毎月第1主日 聖餐式、役員会)  
(毎月第4主日 各会の定例会)

## 集案案内

- ◎ペンテコステ合同礼拝(聖霊降臨日)  
6月8日(日) AM10:30～11:45  
子ども達の讃美があります。

## ◎第16回春のランチョン

(講演会&昼食会)

6月21日(土) AM10:00～PM2:00

ゲスト・守部 喜雅氏



テーマ「その愛と真実の生涯」

NHK大河ドラマの主人公

新島八重と黒田官兵衛



幕末明治の時代、聖書との出会いを  
通して、愛と赦しに生きた2人の感動  
の生涯を読み解く。

## 編集後記

今年の2月9日(日)午後、横浜岡村教  
会では「教会の成長を考える」と題して、信  
徒研修懇談会を開催しました。教会の3  
本柱である(聖日厳守・什一献金・常時  
祈祷)について、各会の代表が見解を述  
べられた。そしてグループ別に分かれて、  
何があるべき姿なのかを話し合いました。  
その要旨をやっと、夏号に載せることが  
できました。主に感謝致します。(Y・I)